



緊急事態宣言の終了と令和3年度予算の成立

自民党厚生労働部会副会長
参議院議員・薬剤師 本田顕子

3月21日、緊急事態宣言が終了となりました。この宣言終了に当たっての3月18日、衆・参の議院運営委員会が開かれました。私は参議院の議運メンバーですが「緊急事態宣言終了時の質問は薬剤師の本田さんにやってもらうのがいいだろう。」と筆頭理事の先生をはじめ皆様のお計らいで、菅義偉内閣総理大臣と西村康稔経済再生・コロナ担当大臣に質問の機会を5分間頂きました。事前に藤井基之先生にご指導いただき、菅総理には、ワクチン接種事業の円滑な実施と国民の皆様への情報提供について質問をいたしました。総理からは、「科学的知見に基づいて、正しい情報を分かりやすく、丁寧にそしてできる限り広く発信し、全ての皆様が安心して接種できるように全力を挙げていく」という御答弁を頂きました。初めての総理への質問ではありましたが、菅総理は、ご自分のワクチン接種の状況を笑顔で披露されるなど、緊張がほぐれるやり取りができたと思えました。

3月26日、令和3年度当初予算が成立しました。令和3年度予算を厚生関係で見ますと、大きく3つの柱となっています。1)ウイズコロナ時代に対応した保健・医療・介護の構築、2)雇用就業機会の確保、3)「新たな日常」の下での生活支援。これら3つの柱においてデジタル化を重点的に推進することとなっています。しかし、デジタル化につきまちは、国外へのデータ移転に関するルールづくりが追いついていないことが浮き彫りになりました。現場の先生方もデジタル化に沿ってご準備をはじめられていると思いますので、現場が混乱しないために党内や委員会の審議に注視していかなければと思っています。

春光あまねく満ちわたる季節、皆様のご多幸をお祈りいたします。



2021年3月18日

参議院議員運営委員会にて菅義偉内閣総理大臣へ質問